



# Nature News

撮影：2022年4月20日 網張の森

“春の妖精”が咲き始めました。



キクザキイチゲ（菊咲一華）

別名/キクザキイチリンソウ キンポウゲ科

雪が溶け、いち早く花を咲かせる植物の中にスプリング・エフェメラルと呼ばれる植物たちがいます。「春のはかない命」という意味で“春の妖精”とも呼ばれ、キクザキイチゲもその一つです。春先に花を咲かせ、落葉広葉樹の若葉が広がる頃には地上部は枯れて地中の地下茎で過ごします。背が低くきゃしゃな花たちは、林の木々が葉を広げてしまうと太陽の光を浴びて光合成することができません。まだ他の植物が目覚めていなく、太陽の光が地面にたっぷり届くうちに、寒さに強いスプリング・エフェメラルは、いち早く太陽の光を利用して花を咲かせ、受粉をし、タネを作り、養分を蓄えます。そうすることで、スプリング・エフェメラルは厳しい生存競争の中を生き抜いてきたのです。

ところで、キク科ではないのになぜこの名前？ それは、花の咲き方が“キク”のようで、しかも1つの花を咲かせるので“イチゲ”と名前がついたそうです。

参考：『春の妖精たちスプリング・エフェメラル』福音館書店  
『野草の名前 春』山と溪谷社

ホオジロ（ホオジロ科）

飛び立つと尾羽の両側の白さが目立つ。

大きさ：全長 17cm

♪チョッチョリ、チョリリ、チョリリ

聞きなし：いっぴつけいじょうつかまつりそうろう  
一筆 啓 上 仕 候

札幌ラーメン味噌ラーメン



カケス（カラス科）

飛ぶと腰の白い部分が目立つ。

大きさ：全長 33cm

♪ジェーイ、ジェーイ



ミズバショウ（水芭蕉）サトイモ科

森の様子やハイキングコースについて  
お気軽にスタッフにお声がけ下さい。